

大和の風

【第21号】令和8年2月16日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標: ~夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成~

「凡事徹底」で、大和中の“当たり前”を強くする

大和中学校の生徒指導テーマは「凡事徹底(ぼんじてってい)」です。これは、挨拶や掃除、時間を守るといった「ごく当たり前のことを、だれにも負けないくらい丁寧に、毎日続けてやり抜く」という考え方です。イエローハット創業者の鍵山秀三郎氏が提唱した言葉として知られ、「平凡なことを非凡に実行することで、確かな成果や信頼につながる」というメッセージが込められています。

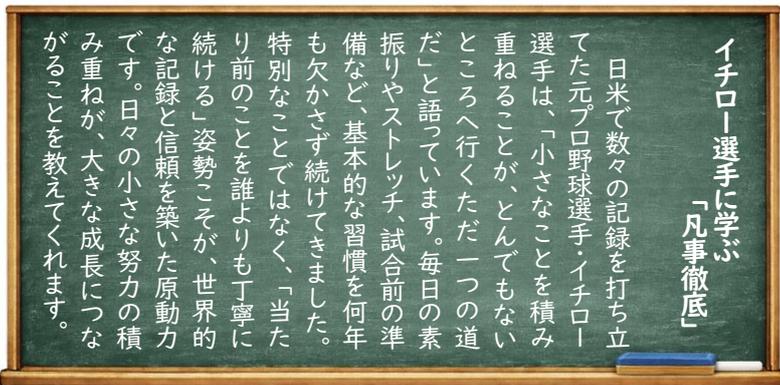
学校生活でも同じです。大きな目標や夢は、いきなり叶うものではありません。毎日の小さな行動の積み重ねが、学力・部活動・人間関係、そして自分への自信を育てていきます。「これくらいいいや」をやめて、基本を大切にできる人は、周りからも信頼され、困ったときほど落ち着いて行動できます。

そこで本校では、次の5つの取組を、毎月1つずつ重点目標として掲げ、意識して取り組んできました。

- ①「あいさつをする」 ②「人の話を聞く」 ③「時間を守る」 ④「身だしなみを正す」 ⑤「無言清掃をする」

どれも簡単そうに見えますが、続けるのは意外と難しいものです。だからこそ、学年・学級・部活動、学校全体で同じ目標に向かって、声をかけ合い、認め合いながら続けていきます。

2月は今年度の総決算として、5つ全ての取組を改めて見つめ直す期間としています。ご家庭でも、日々の当たり前の行動を大切にする姿勢を、温かく励ましていただければと思います。よろしくお願いいたします。



3年生 受検に「勝(カツ)カレー会」

2月13日(金)、PTA3年学年委員会の主催により、受検に臨む3年生一人一人の目標達成を願った「勝(カツ)カレー会」が開催されました。この行事は、子どもたちの努力を励まし、受検に向かう気持ちを後押ししたいという保護者の皆さまの思いから、毎年実施されているものです。今年度も、昨年に引き続き、地域の飲食店「番豚(バンブー)」様より、心のこもったカレーとカツをご提供いただきました。

本来は12月に実施する予定でしたが、当時のインフルエンザ流行による学級閉鎖の影響で、やむを得ず延期となっていました。今回、時期は遅くなりましたが、無事に開催することができ、温かい食事と地域の皆さまの応援は、生徒たちにとって大きな励みとなりました。

当日は、PTA3年学年委員会の皆さまが中心となって準備や配膳を進めてくださり、3年生は自宅から白ご飯を持参して参加しました。盛り付けてもらったカレーとカツを嬉しそうに味わう姿が見られ、「美味しい」「頑張ろう!」といった声が多く上がっていました。

受検を控え、不安や緊張が高まる時期ではありますが、こうした温かい応援は、生徒の背中をそっと押してくれます。「勝カレー会」は、食事の喜びだけでなく、大和中の生徒を見守ってくださる保護者・地域の皆さまの思いを改めて感じる貴重な機会となりました。

今回の開催にあたり、カレーとカツをご提供いただいた「番豚」様、そして準備・運営に力を尽くして下さったPTA3年学年委員会の皆さまに、心より感謝申し上げます。3年生がこれまでの努力を十分に発揮できることを願っています。

(ホームページ用では、個人の名前や鮮明な顔写真は載せておりません)



今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。